

源みなもとの頼光よりみつ
(峰みね 章山しようざん)

平安へいあんの 武将ぶしょう
源みなもとの 頼光よりみつ

名聲めいせい 残のこし 得えたり 勇才ゆうさいの
顔かんばんせ

茲ここに 豪士ごうし 四天王してんのうを 従したがえ

勅命ちよくめい 魔おにを 討うつ 大江山おおえやま

平安武将源頼光 名聲残得勇才顔
茲従豪士四天王 勅命討魔大江山

解説 源頼光を詠った詩。

語釈 ※源頼光 平安時代中期の武将。父は源満仲。頼光四天王（渡辺綱、坂田金時、碓井貞光、卜部季武）などの強者の家臣がいたと言われる。※平安 平安時代。※勇才 生まれつきもっているすぐれた能力、資質。頭のはたらき。才能。※豪士 四天王 渡辺綱、坂田金時、碓井貞光、卜部季武等。※勅命 天子の命令。天皇のおおせ。※魔 酒吞童子等の鬼のこと。※大江山 京都府丹後半島の付け根に位置し与謝野町、福知山市、宮津市にまたがる連山。酒吞童子伝説で知られる。

通釈 平安時代の武将である源頼光は勇才であり名譽も持ち合わせた人物だ。ここに豪士四人を従え、天皇の命令で大江山の鬼を退治に行き、見事、鬼を退治してのけた。